

平成 2 7 年 第 3 回 定 例 市 議 会

* 教 育 行 政 報 告 *

惠 庭 市 教 育 委 員 会

第3回定例会が開催されるに当たりまして、第2回定例会以降における教育行政執行の主なものについて、その概要を報告いたします。

中学校の教科書採
択について

はじめに、中学校の教科書採択について申し上げます。

平成28年度から使用する中学校用教科用図書については、北海道第1地区教科用図書採択教育委員会協議会において、専門的な調査研究の報告を基に協議・選定された教科用図書について、8月28日開催の教育委員会会議において採択されました。

なお、小学校用教科用図書については、昨年度採択された教科用図書を今年度より使用しているところです。

全国学力・学習状況
調査結果の公表に
ついて

次に、全国学力・学習状況調査の結果の公表について申し上げます。

文部科学省による平成27年度の全国学力・学習状況調査は、4月に実施され、8月に調査結果の全国平均について、公表されました。

また、各学校の調査結果について、市町村教育委員会及び各小中学校に通知があったところですが、恵庭市では、結果の分析・公表に向けて作業を進めているところです。

校務支援システム
について

次に、校務支援システムについて申し上げます。

校務支援システムについては、教職員の校務負担の軽減に繋げ、子ども達と向き合う時間の創出を図るため、本年度より市内全小中学校に導入したところであります。現在では、全ての学校で出席簿に活用しているほか、通知表の作成などを行っており、さらに、校務支援システムの活用を図って参ります。

発達障がいにかか
る通級指導教室に

次に、発達障がいにかかる通級指導教室について申し上げます。

発達障がいにかかる通級指導教室は、小学校の通常学級に在籍する

ついて

児童を対象に、平成28年4月の開設に向けて準備を進めているところであります。

通級指導教室の形態については、拠点校へ児童が通級する方式を基本とし、通級にかかる児童や保護者の負担軽減を図るために、各小学校への巡回指導も行う、併用型で実施したいと考えております。

この通級指導教室の拠点校であります。立地条件、空き教室の確保、受け入れ態勢などから、総合的に判断して、柏小学校に開設する予定であります。

引き続き、学校、保護者、関係機関と連携して、発達障がいのある児童に、きめ細やかな支援が出来る仕組みづくりを検討して参ります。

恵み野小学校通学路の変更について

次に、恵み野小学校通学路の変更について申し上げます。

恵み野里美地区の児童が通う恵み野小学校通学路については、これまで道々江別恵庭線と市道恵み野駅前通の交差点に信号機が無いことから、交通量の多い国道36号側を迂回してきたところでありましたが、このほど、信号機が設置されたことにより、夏休み明けの8月18日から恵み野里美地区の児童が通う通学路の変更を行ったところでありました。

また、通学路変更に伴う混乱が起きないように、夏休み前に学校だより等で各家庭に通知を行ない、更には、教職員による登下校の定点指導を1週間実施したところでありました。

高等学校等入学準備金基金について

次に、高等学校等入学準備金基金について申し上げます。

本年2月に制定された恵庭市高等学校等入学準備金支給条例の策定にあたり、就学援助制度検討協議会より、市民からの支援を受けることのできる仕組みづくりも考えていただきたい旨の提言をいただいたところでありました。

本議会において、恵庭市基金条例の一部改正し、高等学校等入学準備金基金を新設することとして提案する予定であります。本条例の趣旨に基づいた活用を行うため、速やかに、企業及び市民の皆様から支援を募るよう、積極的に広報活動を行って参りたいと考えております。

和木町訪問教育親善使節団の派遣について

次に、和木町訪問教育親善使節団の派遣について申し上げます。

姉妹都市である山口県和木町との教育親善使節団派遣交流は、昭和56年より実施し、今回で19回目となりました。

派遣交流は、隔年で実施しており、本年度は恵庭市から和木町へ派遣する年で、7月29日から7月31日までの3日間、随行の先生を団長として小学生2名を、和木町訪問教育親善使節団として派遣したところです。和木町では、公共施設等の視察や名勝・史跡等の見学、ホームステイを行うなど、有意義な派遣交流を実施し、元気いっぱい役割を果たし帰恵いたしました。

子どもたちの体験活動について

次に、子どもたちの体験活動について申し上げます。

地域住民が実行委員会を組織し実施している通学合宿につきましては、子どもたちが家庭を離れ、集団生活の中で炊事や掃除など身の回りのことを自ら行うことで、生活力や自立心、社会性を身につけることを目的とし、これまでに恵み野小学校区、柏小学校区、島松小学校区、和光小学校区、恵庭小学校区において、各々2泊3日から5泊6日の日程で行われました。

今後、若草小学校区では11月に開催が予定されているところであります。

また、子どもたちがさまざまな体験活動を通して興味・関心を持ち、夢を育むことを目的に、「めざせ読書王」、「えにわっ子ジュニアセミナー

一、「七夕飾りを作ろう」などを開催し、いずれも多く参加があり、好評を得たところでもあります。

今後は、「えにわ魚塾・森塾」、「えにわ大好き！食の体験ランド」、「イングリッシュキャンプ」などを実施して参ります。

柏地区生涯学習施設整備事業について

次に、柏地区生涯学習施設整備事業について申し上げます。

現在、地域住民や有識者で構成する「柏地区生涯学習施設運営協議会」において、施設の利用や運営方法などについて検討を進めているところでもあります。

また、駐車場の確保が課題であったことから柏地区生涯学習施設建設地に近接している大町2丁目の道有未利用地462.77平方メートルを、土地開発基金により取得したところでもあります。

なお、柏地区生涯学習施設の建築工事の請負契約につきましては、別途、提案いたしますので、よろしくご審議下さいますようお願い申し上げます。

第4期生涯学習基本計画の策定について

次に、第4期生涯学習基本計画の策定について申し上げます。

「第3期生涯学習基本計画」が、本年度で終了することから、社会教育委員及び生涯学習関係団体などで構成する「生涯学習推進協議会」において、現計画の評価・検証を踏まえながら、「第4期生涯学習基本計画」の策定に取り組んでいるところでもあります。

年内に素案を作成し、来年1月にパブリックコメントを実施し、3月までに策定することとしております。

夢創館の指定管理者募集について

次に、夢創館の指定管理者募集について申し上げます。

8月7日に指定管理者募集説明会を開催し、9月2日までの1か月間を募集期間として受付を行ったところでもあります。

今後、選定委員会に諮り、第4回定例会に指定管理者の候補者について提案する予定であります。

各種スポーツ大会
での活躍状況につ
いて

次に、各種スポーツ大会での活躍状況について申し上げます。

はじめに、小・中学生の活躍について申し上げます。

7月に兵庫県で開催の全日本卓球選手権大会及び8月に東京都で開催の全国卓球ホープス大会に、それぞれ小学生4名が、8月に山梨県で開催の全国小学生学年別柔道大会の女子の部に小学生1名が出場いたしました。さらに、同月、大阪府で開催の全日本アンダージュニアボクシング王座決定戦男子の部に出場した小学生1名が優勝し、東京都で開催の全日本少年少女空手道選手権大会男子組手に出場した小学生1名が準優勝いたしました。

また、北海道中学校体育大会卓球で、恵北中学校男子1名、恵明中学校女子1名がそれぞれ優勝及び入賞し、8月に宮城県で開催の全国大会に出場いたしました。

また、同月、新潟県で開催の日本リトルシニア東日本選抜野球大会に地元チームが出場、さらに香川県で開催の全国中学生空手道選手権大会に、恵み野中学校の男子1名が出場いたしました。

次に、高校生などの活躍について申し上げます。

7月に大阪府で開催の全国高等学校総合体育大会に、恵庭北高等学校から女子陸上に9名が、恵庭南高等学校から空手、ボクシング、柔道、陸上、男子新体操に44名が出場し、男子新体操におきましては団体で3位、個人で5位に入賞いたしました。

また、8月22日から中国の北京で開催されました世界陸上競技選手権大会に出場した北海道ハイテクACの福島千里選手は、女子100mの予選を突破し、準決勝に進出するなど活躍したところであり、市民有志によるパブリックビューイングも開催され、多くの市民

で応援したところであります。

新しいスポーツ推進計画の策定について

次に、新しいスポーツ推進計画の策定について申し上げます。

「恵庭市スポーツ振興まちづくり条例」及び「夢と健康を育むスポーツ都市宣言」を踏まえたスポーツを通じたまちづくりに取り組むため、本年度に新しいスポーツ推進計画を策定することとしておりますが、本計画に市民の意見を反映するため、スポーツ関係者及び町内会関係者などで構成する「恵庭市の新しいスポーツ推進計画策定検討委員会」を8月27日に設置し、策定に取り組んでいるところであります。

年内に素案を作成し、パブリックコメント及び市民説明会を実施し、来年3月までに策定することとしております。

図書館事業について

次に、図書館事業について申し上げます。

市民による実行委員会が主催する「図書館開館24時」が、図書館本館を会場に7月24日に開催されました。通常の開館が終了した午後6時から午前0時まで開館し、本の貸し出しをはじめ、音楽会や絵本講座のイベントなど、市民の皆さまに深夜の図書館を楽しんでいただきました。

また、高齢者等図書宅配サービス事業については、事業対象者を拡大し、8月からすべての市民を対象に図書宅配サービス事業を開始いたしました。

郷土資料館事業について

次に、郷土資料館事業について申し上げます。

郷土資料館では、平成26年度の発掘調査成果を展示する「島松Bチャシ跡展」を6月20日から7月20日まで、特別展示として道内に生息するチョウを紹介する「北海道のチョウ展」を7月25日から8月

23日まで開催いたしました。

また、埋蔵文化財と史跡整備への理解を深める「カリンバ土曜講座」を5月から8月まで実施し、約100名の方に受講していただきました。

8月30日には、市民団体「カリンバの会」と共催し、黄金ふれあいセンターにおいて「第2回カリンバまつり」を開催し、多くの皆さまに楽しんでいただきました。

北海道縄文のまち
連絡会通常総会に
ついて

次に、北海道縄文のまち連絡会通常総会について申し上げます。

道内の27市町村が加盟する「北海道縄文のまち連絡会通常総会」が、7月7日に本市で開催されました。本市を含む9市町の首長と教育関係者など約40名が参加し、縄文遺跡を有する自治体のネットワーク化と相互の交流を図るとともに、カリンバ遺跡など市内各所を視察いただき、好評をいただいたところであります。

以上、はなはだ簡単ではありますが第2回定例会以降における教育行政執行の主なものについて、その概要を報告いたしました。

今後とも、恵庭市の教育水準向上のため一層の努力を重ねて参る所存でありますので、議員各位のご指導とご協力をお願い申し上げ、教育行政報告といたします。